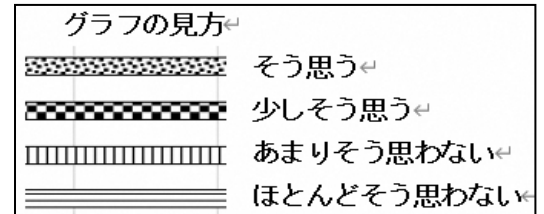


## 令和3年度後期 学校評価 結果・考察の報告

ご協力いただきました学校評価のアンケート結果が、下記のとおり、まとまりましたのでお知らせいたします。この結果をもとに、次年度におきましても、保護者・地域の皆様に信頼される、開かれた学校づくりを目指し、努めて参ります。今年度の学校評価の結果を考察し、来年度は「学びづくり」「心づくり」「仲間づくり」「身体づくり」「安全づくり」の5つを中心に据え、「挨拶と温かい言葉が行き交う楽しい学校」を目指し、全教職員で一人一人の子供の能力を伸ばしていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様の声に耳を傾け、さらに充実した教育活動が実践できるように努力し、子供主体の学校づくりを進めたいと思っておりますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

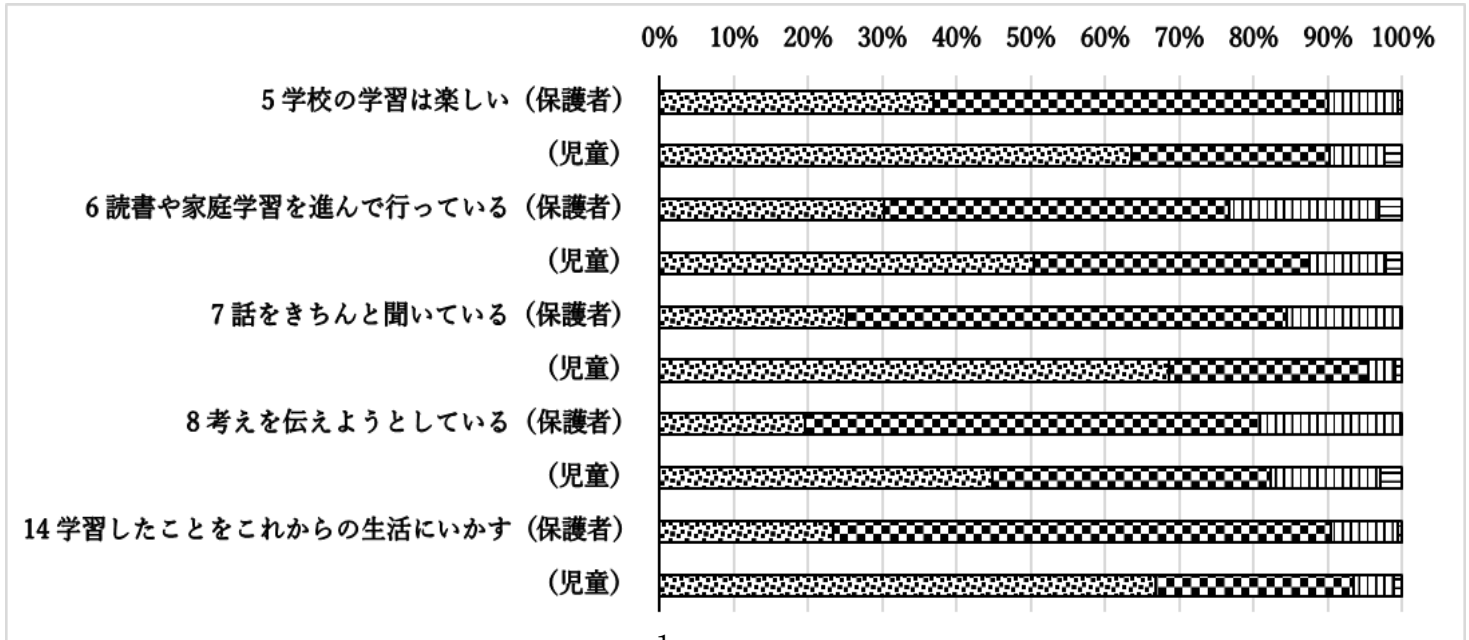


記

学校教育目標 **自ら学ぶ意欲をもち 心身ともにたくましく生きる子供の育成**

**【知育】 進んで学ぶ子 ～自分で考え判断し主体的に活動する子～**

**学びの楽しさと確かな学力の定着を図る『わかる授業』 学びづくり** を 目指します。



1

No.5「学校の学習は楽しい」、No.7「先生や友達の話を中心に聞いている」の問いに対して「そう思う」「少しそう思う」と回答（肯定的回答、以下同様）した児童は、共に90%以上です。教員として一番うれしい言葉は、やはり「授業が楽しい」という言葉です。子供たちの「わかった」「できた」という時の輝いた表情に教員としてのやりがいを感じます。今後も、児童の興味・関心がより高まるような学習支援（様々な体験学習や専科授業、少人数指導の導入等）、児童の思考の流れを大切に授業構成など、教職員一同、研修を深め、より「わかる授業」が実施できるようにして参ります。また、担任等が児童一人一人の作品やノート等に一言励ましのコメントを入れたり、個に応じたきめ細かな学習支援を行ったりもしています。

No.14「学習したことをこれからの生活（学校・家庭・地域）にいかそうとしている」の問いは、保護者、児童共に 90%以上が肯定的回答でした。学習した内容がより自分の生活にどう役立っているのかを実感することにより、学習が身近に感じられ、学習への意欲が醸成されていきます。教科によって実感に差はありますが、今後も意図的に働きかけていきます。

今年度からギガタブが導入され、調べ学習や個に応じた学習をより充実させることが可能となりました。ギガタブに対する児童の関心は非常に高く、様々な場面で活用することができるようになってきています。活用場面の可能性は無限大で、プレゼンテーションソフトを使って発表したり、クラウド内で友達と考えを共有し、同時に資料を作成したりすることもできます。子供たちの操作技能は、想像以上です。No.8「自分の考えを話したり書いたりして伝えている」の問いは、他の設問に比べ肯定的回答が保護者、児童共に高くありませんでした。ギガタブを考えを伝えることのできるツールの一つとして定着させ、自分の考えをみんなへ伝える経験を積み重ねていくことで、自信へとつなげていきます。同時に、自分で見通しをもって行う活動を大いに認め、主体的な学習態度を養うような働きかけを継続的に行っていきます。

ギガタブについては、9月より持ち帰りを推進してきました。目的は「まずは慣れること」です。保護者の皆様の協力もあり、ギガタブを活用しての宿題や諸連絡、リモート授業への対応などスムーズに実施することができるようになりました。今年度はギガタブ導入元年です。目新しさから子供たちの興味・関心は非常に高いですが、学校が目指している姿は、今までの学校教育で培ってきたアナログ的なものとの「ベストミックス」です。次年度は、より自分の目的に応じてギガタブを活用できるように支援していきます。また、持ち帰りについては、原則「週末はギガタブから離れる日」とし、金曜日の持ち帰りをやめます。（現在は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校等に備え持ち帰っています。）それ以外についても柔軟に対応いたしますので、担任までご相談ください。



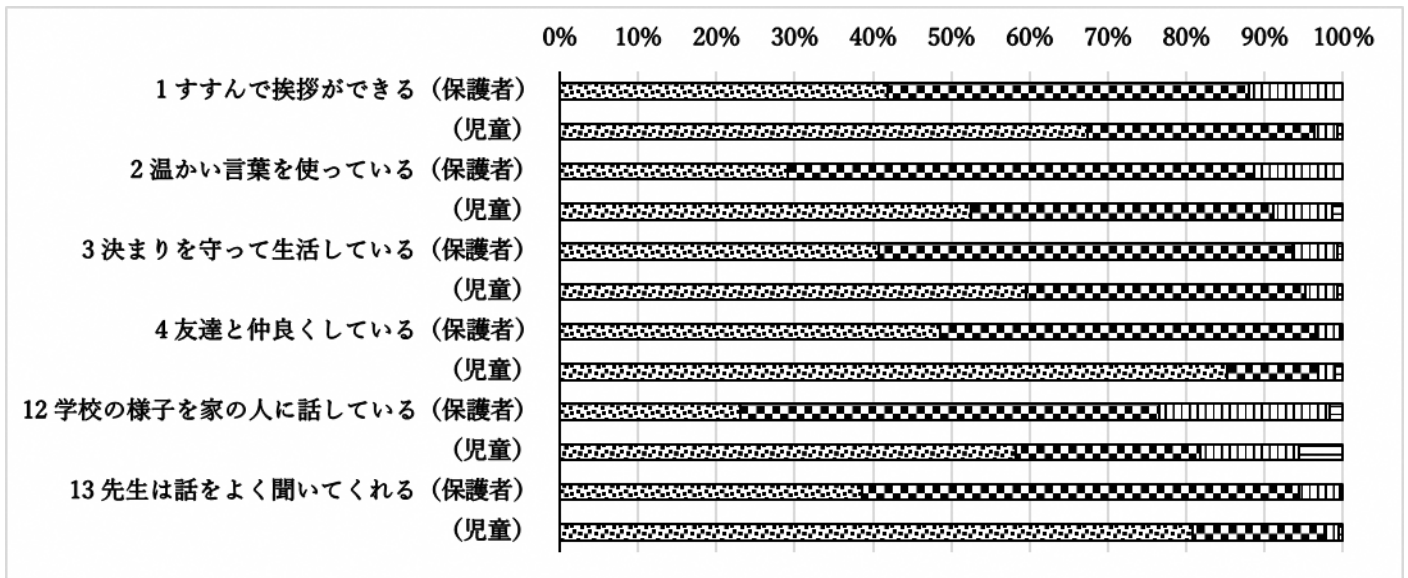
## 【徳育】 思いやりのある子 ～友達の良さがわかり 思いやりのある子～

笑顔いっぱい『夢広がる学校』 心づくり

互いが認め合う『楽しい教室』 仲間づくり を 目指します。（次ページ グラフ参照）

No.12「学校での様子を家の人に話している（児童）」「学校や学級の様子は分かりますか（保護者）」の問い以外は、ほぼ 90%が肯定的回答をいただいています。No.1「すすんで挨拶ができる」は児童の 96.4%が肯定的回答でした。登校の様子を見ている、大きな声で挨拶をして手を振ってくれる子、マスクの上から見える目がきらきら笑顔の子、丁寧に頭を下げて挨拶する子など、気持ちのよい挨拶ができる子がたくさんいます。一日のスタートを元気で気持ちのよい挨拶からはじめられるように、計画委員会の子供たちの主体的な活動により、全校に波及させていきたいと思えます。

No.13「先生は話を聞いてくれる」という問いに児童の 98.9%（保護者 94.3%）が肯定的回答をしています。学校にとっては大変うれしい結果です。年 2 回の教育相談週間をはじめ、一人一人の子供の思いを受け止めようという教職員の姿勢が評価されたものだと思います。ありがとうございます。児童理解が進むことで、寄り添うことができ、教職員と児童のより強い信頼関係を築いていきます。さらに、No.4「友達と仲良くしている」の問いは、児童、保護者共に約 97%が肯定的な回答でした。高評価をいただいたNo.1、No.4、No.13については、肯定的回答が 100%になるように、学校教育活動をさらに充実させ、「楽しい学校（楽学）」を築いていきます。



No.12「学校や学級の様子がわかる（保護者）」「学校での様子を家の人に話している（児童）」の問いは、肯定的回答は児童 91.8%、保護者 76.6%でした。子供たちの学校生活の基本は、学級で作られます。安心できる居場所であり、学力をつけるところです。学級での活動を計画的に進め、話し合いながら自分たちで自分の生活をより良くしようとする子供を育てたいと思います。家庭での話し合いも大切です。「学年だより」や「学校だより」などが配付された際は、掲載されている記事の様子を聞くなどして、ぜひ、お子さんと話す機会を増やすようにお願いします。また、不定期ではありますが、今年度より児童の活動の様子をギガタブで配信する取り組みも始めました。その際は、是非ご覧になっていただき、ご家庭での話題にしてほしいと思います。本校では、全職員が子供一人一人に寄り添い、自信をもたせることを第一の目標にしています。「わかるまで教えてもらえる」「困ったときに相談できる」学校としてさらに充実させたいと思います。保護者の皆様と連絡を密にし、児童理解に努めて参ります。「懇談会」や「教育相談週間」や長期休業前の「個人面談」など、保護者と担任とがスムーズに連携できるよう計画しております、今はコロナ禍で開催は難しいですが、保護者の皆様も学習参観や行事などに積極的においでいただき、お子さんの学校での様子を知ってください。次年度はリモートでの参加も可能となるように工夫していきます。

## 【体育】 たくましい子 ～心身ともに健康で たくましい子～

元気でたくましい『とどろきっ子』 **身体づくり**

安心できる『安全な学校』 **安全づくり**

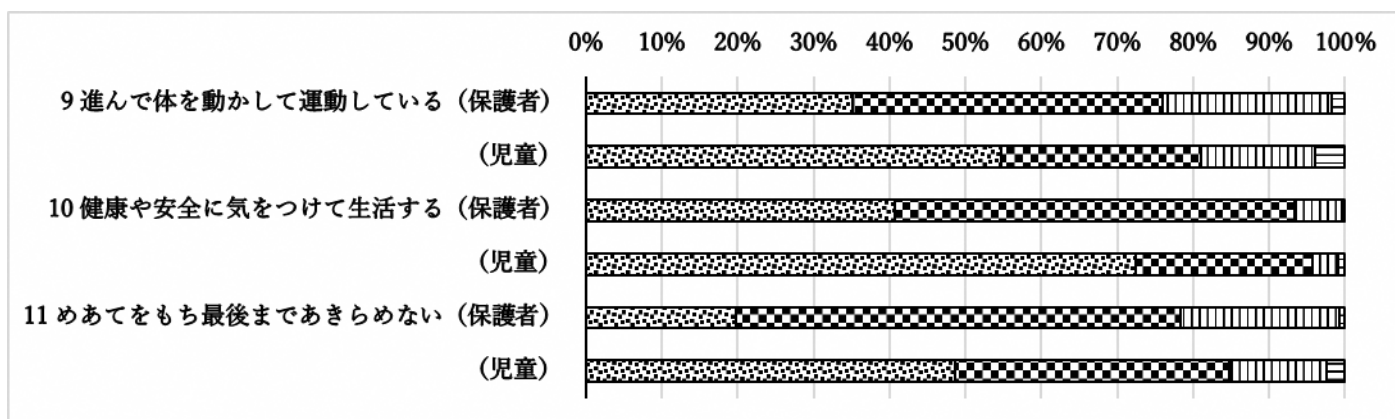
を 目指します。(次ページ グラフ参照)

No.9「進んで体を動かして運動している」という問いに対して、保護者・児童共に肯定的回答が 80%以下でした。大規模改修工事は次年度も継続します。新型コロナウイルス感染症予防のための活動制限も軽重はあるものの次年度も行っていく必要があると考えています。学校では、



縄跳びカードや鉄棒カード等を活用して自分のめあてを明確にさせて、子供たち自身が主体的に運動に取り組めるようにしています。教科体育のさらなる充実を図り、人と比べるのではなく、「今の自分ができることは何か?」「自分はどうなりたいか?」「そのためにどんな練習をすればよいか?」を考えさせ、自分自身の成長が実感できるような授業構成を工夫しています。体育委員会などの児童会活動からのアプローチも視野に入れて運動への啓発を行っていきます。ロング昼休みには、学級活動の一環で「クラス遊び」を行っている学級もあります。また、6年生の陸上大会や球技大会への練習では、必要に応じて、千葉経済学園附属高等学校や轟町中学校のグラ

ウンドを借用して取り組んでいます。



No.11「自分のめあてをもち最後まであきらめない」という問いは、保護者・児童の肯定的回答が他の設問と比べ高くありませんでした。（保護者 78.4%、児童 84.7%）引き続き、子供たちの頑張りを認め、達成感を味わわせることで、校訓である「とどろきっ子は がんばる子」へアプローチしていきます。

No.10「健康や安全に気を付けて生活している」の問いは、保護者、児童共に 90%以上が肯定的回答でした。感染症予防のため避難訓練等の活動が制約されていますが、大規模改修工事の引越しに伴う避難経路の確認や引き渡し訓練、方面別集団下校を想定した訓練等、工夫して行っています。保護者の皆様のご協力も必要となる場合もございますので、よろしくお願いいたします。大規模改修工事中の業者への安全確保の要請は今後も引き続き行っています。



今年度も、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大の影響を受け、様々な制約を受けた教育活動となってしまいました。例年行ってきた運動会や「かがやけどどろきっ子（学習発表会）」等の全校児童が同じ場所に集まる活動や交流する活動の実施は、次年度も難しい状況だと考えられます。しかし、ギガタブが全児童に配付されたり、今までの知見に基づき教育活動を工夫して実施したりすることで、新たな取り組みを行うこともできるようになってきました。たとえば、体育館と各教室を双方向で結ぶリモート集会や空いてる時間を利用した「ちょこっと表彰式」、学年ごとの避難訓練など、まだまだ工夫の余地はあります。次年度も、文部科学省や千葉市教育委員会等から出されたガイドラインに沿って、感染症対策を講じた上で、教育活動を行っていきます。子供たちの学びを止めないためにも、保護者の皆様には、引き続き感染症対策へのご理解・ご協力をお願いいたします。また、令和4年度の学級数は、18学級（1～2年生 2学級編制、3～6年生 3学級編制、特別支援級2学級）となる予定です。大規模改修工事に伴う仮設校舎での生活や、給食停止期間中の昼食持参など、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。最後になりましたが、子供たちの健全な成長のためには、セーフティウォッチャーさんや学校評議員の皆様をはじめとする地域の皆様のご尽力なくしては成り立ちません。心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。